

国有林森林計画の策定に関わる意見交換会の開催 (第7次地域管理経営計画(千葉南部森林計画区))

関東森林管理局では、令和6年度に千葉南部森林計画区に係る「第7次地域管理経営計画」及び「第7次国有林野施業実施計画」を樹立・策定することとしています。

これに先立ち、関係行政機関や地域の皆さまなどのご意見をお聞きし、計画に反映できるよう下記のとおり意見交換会を開催いたしました。

なお、千葉南部森林計画区をはじめ関東森林管理局内の各森林計画区については、関東森林管理局ホームページにおいて公表しています。

(URL : <https://www.rinya.maff.go.jp/kanto/apply/publicsale/keikaku/110601.html>)

記

- | | | | |
|-----|---|--|--------------------|
| 1 日 | 時 | 令和6年2月16日(金) | 10時30分から12時00分 |
| 2 場 | 所 | 君津市農村環境改善センター 農事研修室
(君津市久留里市場347-1) | |
| 3 議 | 題 | (1) 千葉南部森林計画等の樹立・策定について
①計画内容等の説明
②意見交換・まとめ
(2) その他 | |
| 4 開 | 催 | 状況 | 別紙、当日配布資料及び写真のとおり。 |

【お問合せ先】



国民の森林・国有林

〒263-0034
千葉県千葉市稲毛区稲毛1-7-20
林野庁 関東森林管理局 千葉森林管理事務所
担 当：松野、梅本
T E L：043-242-4656
E-mail：ks_chiba_postmaster@maff.go.jp

林野庁

千葉南部森林計画区

計画策定・樹立に関する意見交換会

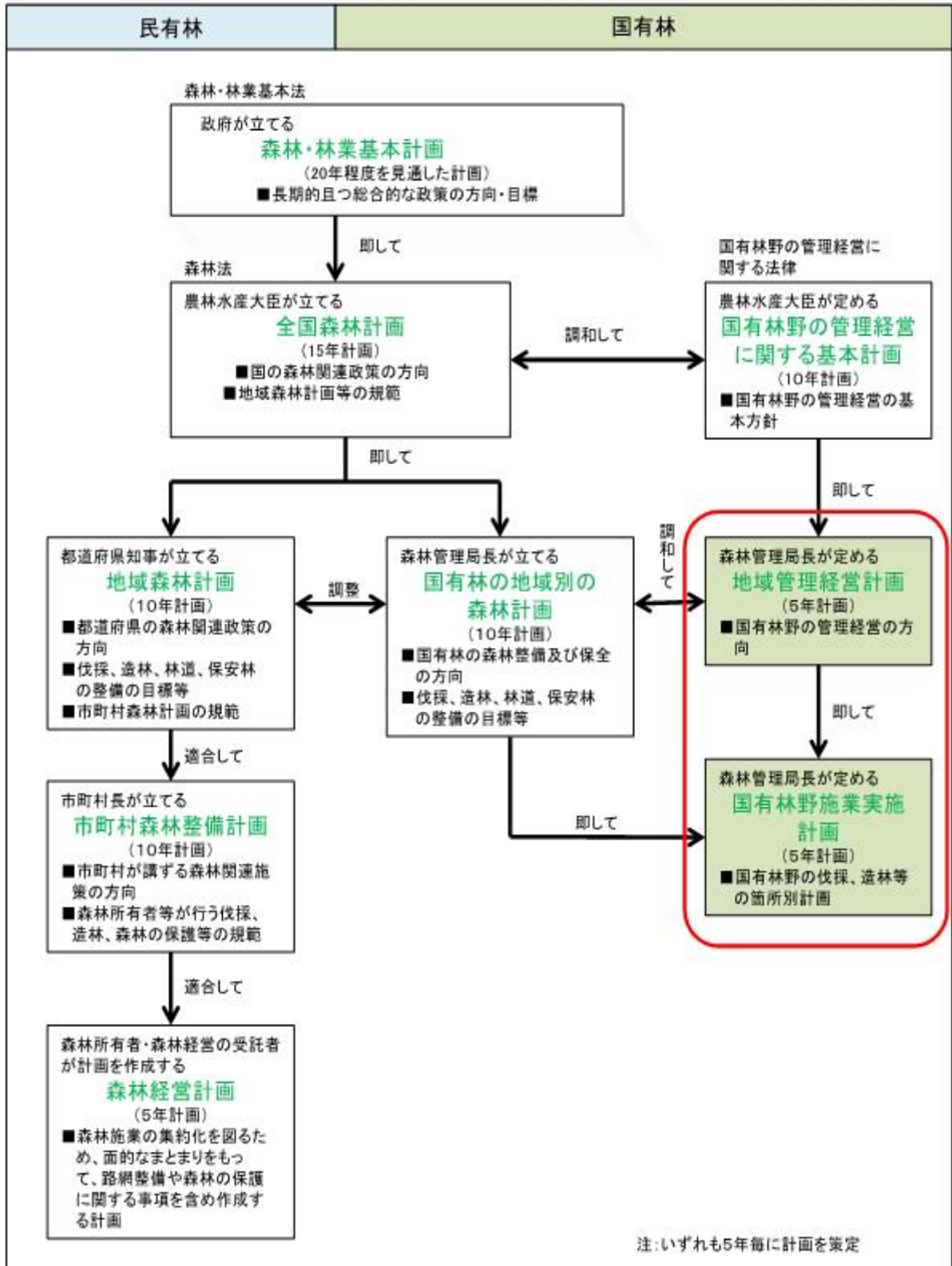


薊作国有林 再造林箇所

令和6年2月16日

林野庁関東森林管理局
千葉森林管理事務所

1 国有林の森林計画の体系



2 千葉南部森林計画区の概要

当計画区は、千葉県の南部に位置し、利根川広域流域に属している。北は千葉北部森林計画区に接し、東と南は太平洋、西は東京湾と三方を海に囲まれている。館山市、木更津市、勝浦市、鴨川市、君津市、富津市、南房総市、いすみ市、袖ヶ浦市、大多喜町、御宿町、鋸南町の9市3町を包括している。

この地域の総面積は、174千haで、千葉県面積の34%を占めている。森林面積は、93千haで、うち国有林は8%（約8千ha）を占めている。



【参考1】 計画の対象とする森林の区域

市町別面積

単位 面積:ha

区 分		面 積	備 考
総 数		7,710.57	
市 町 別 内 訳	勝 浦 市	1,376.49	
	大 多 喜 町	2,165.65	
	君 津 市	2,348.96	
	木 更 津 市	32.40	
	富 津 市	1,771.50	
	鴨 川 市	10.12	
	南 房 総 市	5.13	
	館 山 市	0.32	

- (注) 1 計画の対象とする森林の区域は、森林計画図において表示する区域内の国有林とする。
- 2 森林計画図の縦覧場所は、関東森林管理局計画課、関東森林管理局東京事務所及び千葉森林管理事務所とする。
- 3 上記表には、国有林が所在しない「いすみ市」「袖ヶ浦市」「御宿町」「鋸南町」2市2町は含まれない。

3 森林計画の策定・樹立にあたっての事項

計画の策定・樹立にあたっては、経常の事項に加え、次の事項を追加し、

- 1 全国森林計画の前計画の変更を行った平成28年5月以降に生じた新たな施策を踏まえて、別紙の計画の概要事項 【参考2を参照】
- 2 木材需要の多様化、林業労働力不足等の社会経済情勢の変化を踏まえ、「社会経済情勢を踏まえた森林施業に関する方針」を追加し、森林施業の合理化に関する事項
- 3 関東森林管理局の重点取組事項
- 4 その他追加等の必要とする事項等

について、組み入れることとする。

なお、次項以降にそれらの参加資料等を挿入することとする。

【参考2】全国森林計画の策定の概要

全国森林計画の策定の概要

(平成30年10月16日閣議決定)

1 全国森林計画の趣旨

全国森林計画は、「森林法」の規定に基づき、「森林・林業基本計画」に即して農林水産大臣が5年ごとに15年を1期としてたてる計画（平成31年4月1日から平成46年3月31日の15年間）。

都道府県知事がたてる地域森林計画等の指針として、森林の整備及び保全の目標、伐採立木材積や造林面積等の計画面量、施業の基準等を示すもの。

2 計画の概要

- 前計画変更（平成28年5月）以降に生じた新たな施策の導入等を踏まえて、以下の記述を追加。
 - ・ 森林経営管理制度（新たな森林管理システム）の導入
 - ・ 平成29年7月の九州北部豪雨の流木災害を踏まえた流木対策の推進
 - ・ 花粉症対策に資する苗木の供給拡大を踏まえた花粉発生源対策の強化
 - ・ 平成29年7月にとりまとめた報告書『『地域内エコシステム』の構築に向けて』を踏まえた木質バイオマス利用の推進
- 広域的な流域（44流域）ごとに定めている①森林整備及び保全の目標、②伐採立木材積、造林面積等の計画面量について、森林・林業基本計画（平成28年5月）に示されている目標等の考え方に即し、新たな計画期間に見合う量を計上。

【森林の整備及び保全の目標】

区 分	現 況	計画期末
森林面積（千ha）	育成単層林	10,215
	育成複層林	1,053
	天然生林	13,780
		13,219

注） 現況は平成29年3月31日、計画期末は平成46年3月31日時点の数値

【計画面量】

区 分	計 画 量	
伐採立木材積（万m ³ ）	総数	82,155
	主伐	37,707
	間伐	44,448
造林面積（千ha）	人工造林	1,028
	天然更新	958
林道開設量（千km）	62.4	
間伐面積（参考）（千ha）	6,784	

注） 計画期間（平成31年4月1日～平成46年3月31日）の総量

【参考2-1】森林の整備及び保全の基本的な考え方

1 全国森林計画(平成30年10月16日閣議決定)に即し、関係する計画事項を追加

I 森林の整備及び保全の目標その他森林の整備及び保全に関する基本的な事項

1 森林の整備及び保全の基本的な考え方

森林の整備及び保全に当たっては、森林の有する多面的機能を総合的かつ高度に発揮させるため、生物多様性の保全及び地球温暖化の防止に果たす役割並びに近年の地球温暖化に伴い懸念される集中豪雨の増加等の自然環境の変化や急速な少子高齢化と人口減少、所有者不明森林や整備の行き届いていない森林の存在等の社会的情勢の変化に加え、資源の循環利用を通じた花粉発生源対策の推進の必要性も考慮しつつ、さらには、放射性物質の影響等にも配慮し、適正な森林施業の面的な実施や森林の保全の確保により健全な森林資源の維持造成を推進する。また、これらを踏まえ森林の状況を適確に把握するための森林資源のモニタリングの適切な実施や、リモートセンシング及び森林GISの効果的な活用を図ることとする。

具体的には、森林の有する諸機能が発揮される場である「流域」を基本的な単位として、森林の有する水源涵養^{かん}、山地災害防止／土壌保全、快適環境形成、保健・レクリエーション、文化、生物多様性保全及び木材等生産の各機能を高度に発揮するための適切な森林施業の面的な実施、林道等の路網の整備、委託を受けて行う森林施業又は経営の実施、保安林制度の適切な運用、治山施設の整備、森林病虫害や野生鳥獣による被害対策などの森林の保護等に関する取組を推進する。森林の有するこれらの機能ごとの森林整備及び保全の基本方針を第1表のとおり定める。

【参考2-2】機能ごとの森林整備及び保全の基本方針

1 森林の整備及び保全の目標その他森林の整備及び保全に関する基本的な事項

(1) 森林の整備及び保全の目標

当計画区内の森林の自然的社会的経済的諸条件からみて、森林の有する水源涵養、山地災害防止／土壌保全、快適環境形成、保健・レクリエーション、文化、生物多様性保全及び木材等生産の各機能について、特にその機能発揮の上から望ましい森林の姿は次のとおりである。

ア 水源涵養機能

下層植生の発達と樹木の根の発達等により、水を蓄える孔隙に富んだ浸透・保水能力の高い森林土壌を有する森林であって、必要に応じて浸透を促進する施設等が整備されている森林

イ 山地災害防止機能／土壌保全機能

下層植生が生育するための空間と光環境が確保され、下層植生とともに樹木の根が深く広く発達し、土壌を保持する能力に優れた森林であって、必要に応じて山地災害を防ぐ施設が整備されている森林

ウ 快適環境形成機能

大気の浄化、騒音や風を防ぐなど良好な生活環境を保全するために、樹高が高く枝葉が多く茂っているなど遮へい能力が高く、諸被害に対する抵抗性が高い森林及び汚染物質の吸着能力が高く、かつ、抵抗性があり葉量の多い樹種によって構成されている森林

エ 保健・レクリエーション機能

観光的に魅力のある高原、溪谷等の自然景観や植物群落を有する森林、キャンプ場や森林公園等の施設を伴う森林など、国民の保健・教育的利用等に適した森林

オ 文化機能

史跡・名勝等と一体となって潤いのある自然景観や歴史的風致を構成している森林であって、必要に応じて文化活動に適した施設が整備されている森林

カ 生物多様性保全機能

全ての森林は多種多様な生物の生育・生息の場として生物多様性の保全に寄与していることを踏まえ、一定の広がりにおいてその土地固有の自然条件等に適した様々な生育段階の林分や樹種がバランスよく配置されている森林

キ 木材等生産機能

林木の生育に適した土壌を有し、木材として利用する上で良好な樹木により構成され、二酸化炭素の固定能力が高い成長量を有する森林であって、林道等の基盤施設が適切に整備されている森林

国有林森林計画の策定に関わる意見交換会の開催状況（写真）



【写真1：千葉森林管理事務所長あいさつ】



【写真2：意見交換会の様子】